

第71期第3回男女共同参画推進委員会議事録

日 時：2016年2月27日（土）13：00-15：00

場 所：日本物理学会 大会議室（東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4階）

出席予定：板倉（委員長）、伊藤（副委員長）、野尻、小田原、中山、山本、間宮、本橋、
鹿野（スカイプ参加）（以上委員）、
藤井（オブザーバー、物理学会会長）、森（オブザーバー）、白勢、岡村（事務局）、
永廣（次期委員予定）、福島（次期委員予定）

欠席予定：高安、永宮、フラナガン（以上委員）、
笹尾（オブザーバー）、栗本（オブザーバー）、遠山（次期委員予定）
以上敬称略）

【議題・報告等】

【1】 第2回委員会議事録の確認

資料1：71期委員会第2回委員会議事録

【2】 72期新委員予定者の紹介

永廣 秀子さん：奈良女子大学 自然科学系 物理学専攻

遠山 貴巳さん：東京理科大学 理学部 応用物理学科

福島 孝治さん：東京大学 総合文化研究科

（*伊藤副委員長、小田原委員、フラナガン委員は71期で退任予定。

伊藤副委員長はオブザーバーの立場でしばらく残っていただく）

資料2：72期男女共同参画推進委員会委員（案）

【3】 理事会等報告

- ・板倉委員長より理事会報告。男女共同参画学協会連絡会の分担金請求あり、来年度も日本物理学会は学協会連絡会の参加団体となる。
- ・「2016年女子中高生のための関西科学塾」の共催申し込み問い合わせあり。共催分担金5万円は予算計上済み。

【4】 国際連携／日物応物連絡会報告

- ・森連絡会責任者より「日物応物男女共同参画連絡会」の報告があった。2月12日に委員会があり日本物理学会から森（責任者）、小形、倉本、笹尾、板倉、藤井会長、白勢（事務局）、応物学会から増田、河西、Chromic（スカイプ参加）、塩尻（事務局）が参加した。Gender Summit 6 の報告（HP にアップロード済み）を行い、Gender

Summit10 についての打ち合わせ等を行った。

資料 4-1 : Gender summit 開催概要

資料 4-2-1 : GS10 幹事会(2/19)内容のメール、4-2-2 および GS10 協賛_関連資料

資料 4-3 : 第 10 回日物応物連絡会メモ

資料 4-4 : 第 6 回ジェンダーサミット(GS6)と環太平洋 Women in Physics(AAPPS
—WIP)ワークショップ 2015 の報告

◆Gender Summit10 に関して。

- 2017 年 5 月 25 日・26 日@一橋講堂で開催予定。(主催 : JST、日本学術会議、PORTIA、後援 : 文科省、内閣府(予定)、協賛 : 各学会など) 日本物理学会は日物応物連絡会として、参加及び協力することとなった。また、協賛金に関しては他学会の様子を見る、と言う回答を JST に送った。
- 日物応物連絡会は、ワーキンググループ 1 (WG1)「男女共同参画推進のための研究者情報の整備と活用」に参加して活動する。WG1 には、連絡会の他、学協会男女共同参画連絡会、エルゼビア社、他数人が参画予定である。
- 研究者情報の活用を考えながら情報整備を行う予定である。個人情報登録とともに、セミナーやシンポジウム、研究資金などの情報にアクセスできるようなサイトがあると便利ではないかという意見が出た。また、ジェンダーを専門として研究している人の参加が求められるという意見が出た。引き続きメーリングリストで意見募集を行う。

◆2016 年 12 月 APPC13(@ブリスベン)に関して。

2 人分旅費を計上している。応物も 2 人分の旅費の用意は基金よりあるとのこと。この会議は APS(オーストラリア物理学会)と同時に開催されるため、会議の詳細を森連絡会責任者よりオーストラリアの男女共同参画活動責任者に問い合わせ中。

◆参考 : これまで&これからの国際会議への参加など

2013 年 APPC12@Chiba

2014 年 IUPAP-WIP@Waterloo

2015 年 GS6@Seoul

2016 年 APPC13@ブリスベン

2017 年 GS10@Tokyo, IUPAP-WIP@UK

【5】物理学会年会シンポジウム詳細の検討

野尻委員より年会シンポジウムの詳細の説明があった。

1.日時 : 2016/03/22、2.大会会場 : 東北学院大学、3.講演会場 : BG、

4.開催時間 : 9:00~12:30、5.開催領域名 : 物理と社会、

6.主題 : ダイバーシティの中での物理教育

例年プログラムが良くても参加者が少ない傾向があり、委員はできるだけ参加して

ほしいこと、今後の企画についても教室が適切なサイズでコミュニケーションが取りやすい体制とすることが必要である、との意見があった。

【6】男女共同参画学協会連絡会

伊藤副委員長の代理出席で男女共同参画学協会連絡会 13 期第 3 回委員会に参加した野尻委員から委員会に関する報告があった。今回の委員会では、ルーチン議題が多く、特に日本物理学会で注目・対応すべきことはなかった。一方、委員会終了後に 12 期の委員長であった平田典子教授から、「日本物理学会に第 17 期（2018～2019 年）の幹事学会を引き受けて欲しい」との相談が野尻委員にあった。幹事学会を引き受けられるような大きな学会の幹事学会担当が一巡したため、設立時（2 期）に幹事学会を務めた日本物理学会に再び幹事学会担当を検討いただきたいとのことである。

このことについて委員会で検討した結果、当委員会としてはお引き受けを前提として検討を進めることになったが、学会事務局の負担も含めて幹事学会としての仕事リストを作成し、当学会の理事会に幹事学会をお引き受けするか否かの判断を委ねる必要があるという結論に至った。そのための資料取り寄せを伊藤副委員長が担当することになった。また、伊藤副委員長、フラナガン委員ともに本 71 期をもって物理学会男女共同参画委員会委員を退任するので、72 期の学協会連絡会担当委員として、野尻委員、福島委員、遠山委員が候補となった。

資料 6_第 1 回運営委員会報告案

【7】女子中高生夏の学校

中山委員より、第 5 回夏学実行委員会議事報告があった。夏学の資金源となる J S T 女子中高生の理系進路選択支援プログラム募集について、平成 28 年度からプログラム内容、募集時期の大幅な変更があったことについて説明があった。また、夏学の寄付金集めについて、従来の寄付の形態では、運営状弊害が出る恐れがあるため、現在、専門委員会において寄付の形態を再検討しているとの報告があった。平成 28 年度女子中高生夏の学校 2016 は、平成 28 年 8 月 6 日（土）から 8 月 8 日（月）に、国立女性教育会館で行われることが決定したとのことである。

【8】その他

- ・物理教育委員会からの下記依頼について、鹿野委員経由で打診があったため、委員会内で審議した。昨年度シンポジウム「ダイバーシティの中での物理教育」に関して、日本物理学会物理教育委員会で講演内容のテープをおこし「大学の物理教育誌」への掲載を企画している。審議の結果、依頼に応じること、筆者については物理教育委員会と相談すること、シンポジウムの講演者には野尻委員、鹿野委員から連絡をするとともに、原稿内容の講演者への確認を徹底することとした。

- 学協会連絡会で、日本物理学会に次の次(2018 年秋～2019 年秋まで)の幹事が打診されている。委員会で審議し、幹事学会となることを承諾する方向が決まったが、幹事学会の作業や実際の業務、71 期までフラナガン委員が参加していたワーキンググループについてはどうするかなど、伊藤副委員長にまとめてもらい、メーリングリストまたは次回委員会で再審議することとした。

以上